

都筑中央公園はグリーンマトリックスシステムの中核となる区内最大の総合公園

都筑中央公園自然体験施設



指定管理者 特定非営利活動法人 都筑里山倶楽部

里山便り

11月号

令和6年11月30日 第267号

発行：特定非営利活動法人 都筑里山倶楽部 理事長 岩嶋 伸幸
〒224-0032 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 57-8 Tel& Fax 045-941-0987

■ 11 / 1 (金) 里山保全体験/日本ヒルティー株式会社

11月1日(金)に日本ヒルティー(株)の社員9名の方が企業CSR活動の一環として里山保全活動に参加してくださいました。会社としてCSR活動を推奨しているとのことで、前回とは違う部署の方々です。営業職で、日頃は製品のデモなども行っていらっしゃる機械工具と手ノコでは勝手が違うようでした。それでも使い始めはぎこちなくても徐々に上手になっていきました。

一人1本の孟宗竹を伐採し、枝払いから定寸のカットそして運び出しと一通りの作業を体験して頂きました。また竹林に持ち込んだチップper作業も見学してもらいました。最後は戸田部会長から、竹の成長の話や毎年の竹の発生数や駆除の苦労などを聞いて頂き保全活動への参加もしっかりと呼びかけして解散となりました。対応して頂いた炭焼き・保全の部会の方々、ありがとうございました。事務局 K.M



■ 11 / 10 (日) ミツバチ飼育体験会

9家族10人の子供たちが参加してくれました。

ハチ(膜翅目)は日本では約4,500種もいることや、ハチとアリは同じ仲間でもシロアリは違う仲間といった全体的なお話のあと、「ミツバチクイズ」を行いました。

働きバチの一生は30日、飛行距離は約2km、メスのハチしか刺さない、ミツバチはダンスで花のありかを仲間に伝える、1匹の働きバチが一生かけて集める蜂蜜の量はティースプーン1杯分といった内容をクイズから学んでもらいました。

次は実際に蜂場に行って巣箱を開けて中を観察します。顔を刺されない様に面布帽子をかぶって観察です。働きバチの中に女王バチを見つけて、思ったより小さいと感じたようです。またハチの数の多さにも驚いたようで、初めて見る巣箱の様子に感激していました。観察の後は、実際の巣板にたまった蜂蜜を分離機を回して皆で絞りました。





約3kgほどの蜂蜜が取れ全員で試食。「美味しい」「甘い」などの声が聞こえてきます。取れたての蜂蜜のおいしさにも感動してくれました。

短い時間でしたが、ミツバチの生活様式の面白さ、蜂蜜の味、また農業などに蜂の受粉が必要なことなど環境に大切な昆虫「ミツバチ」について理解を深めて頂けたことと思います。

事務局 K.M

■11 / 18 (金) 牛久保小学校保全体験

横浜国立大学牛久保小学校4年1組の生徒さん26名が総合学習の授業の一環として11月8日にばじょうじ谷戸にて竹切り体験とチップ処理の見学を行いました。全員が初めての竹切り体験でしたがノコギリを上手に使い合計5本の竹を切り、運び出しまでを安全に行いました。



また切った竹は小学校に持ち帰り無煙炭化器にて竹炭を焼き、その竹炭をすり潰し、液体のり・水と混ぜて竹炭墨汁を作り、その竹炭墨汁で絵を描いて、プロジェクト完了との事です。今回の竹切り体験が大人になっても忘れない楽しい思い出になってくれたら良いなと思っています。

炭焼部会 A.T

■11 / 23 (土) 田畑作業体験 (サツマイモ掘り)

朝晩は急に冷えるようになってきましたが、今年は秋の訪れが遅くコナラの葉もまだ緑を残しています。6家族10名の参加者とサポーターでサツマイモ掘りの開始です。上の畑の20m x 2畝に育ったサツマイモの蔓をノコギリ鎌で切り取り、黒ビニールを取り除き、いよいよ紅ハルカが姿を現します。夏には定期的に雨が降ってくれたためか、かなりの粒ぞろいで、まあまあの出来というところでしょうか。最後に下の畑で大根を一本ずつ抜き取り、きれいに澄みわたった秋空のもと、体も心も笑顔になって今年の収穫を終えました。

田畑保全部会 M.S



■11 / 24 (日) 晩秋の植物観察会

当日の天気は晴れ、一般参加者9名、講師の方々4名、ボランティア4名で観察会を開催しました。

まず会議室で、今回の観察会の予定、自然観察事項を説明し、観察コースで見られる生き物(植物)の資料を配布しました。今回の観察会は、植物の種子や葉に注目すること等観察のポイントを説明し、種子採取用のフェルトを参加者に配り、野外へ出しました。

イヌシデの葉を採取してよく観察すると、種子が付いていて、葉を下に落とすところくると回りながら、落ちるのが観察されました。これが風に乗ると、遠くに種子が飛んでいき、そこで芽生えるということです。風という自然を利用した子孫繁栄戦略、素晴らしいです。もう一つ、フェルトにひっつくヌスビトハギ等の植物もありました。

これらは動物の毛や人間の衣服にひっついて、種子を広げる動物散布、これもなかなかの戦略です。

野外での活動終了後、会議室に戻り、ふりかえりとまとめを行いました。

最後に、アンケートを記入していただき、観察会を終了しました。

調査観察部会 T.N.



炭焼き 11月の活動/イベント 1.ドラム缶窯（MK-1）による炭焼き

■実験方法と結果

・炭材：長さ 68 c m長寸（伐採日 2024 年 2 月 9 日）・乾燥日数 丸竹：57 日、竹割後：214 日（約 7 か月）・入炭材量： 54.29 Kg・採取竹酢液：12.87 L（23.7%）良炭量 5.85 K g・出炭量： 11.5 Kg（31.8 %）（品質が悪く良炭の選別は行わず）

<前々回（6月）、前回（10月）の結果分析に基づく推論>

煙道口の温度が 100℃までしか上がらず、竹炭の品質が悪く収量も少なかったのを受け、その原因を探った。その結果、煙道口への出口（窯と煙突の接続部分）の通風孔（穴）を絞り過ぎたことでジェットストーブ効果が得られなかったためと推論した。

<今回の変更点> 煙道口への通風孔（穴）を全開で炭焼きを試みた

<結論>

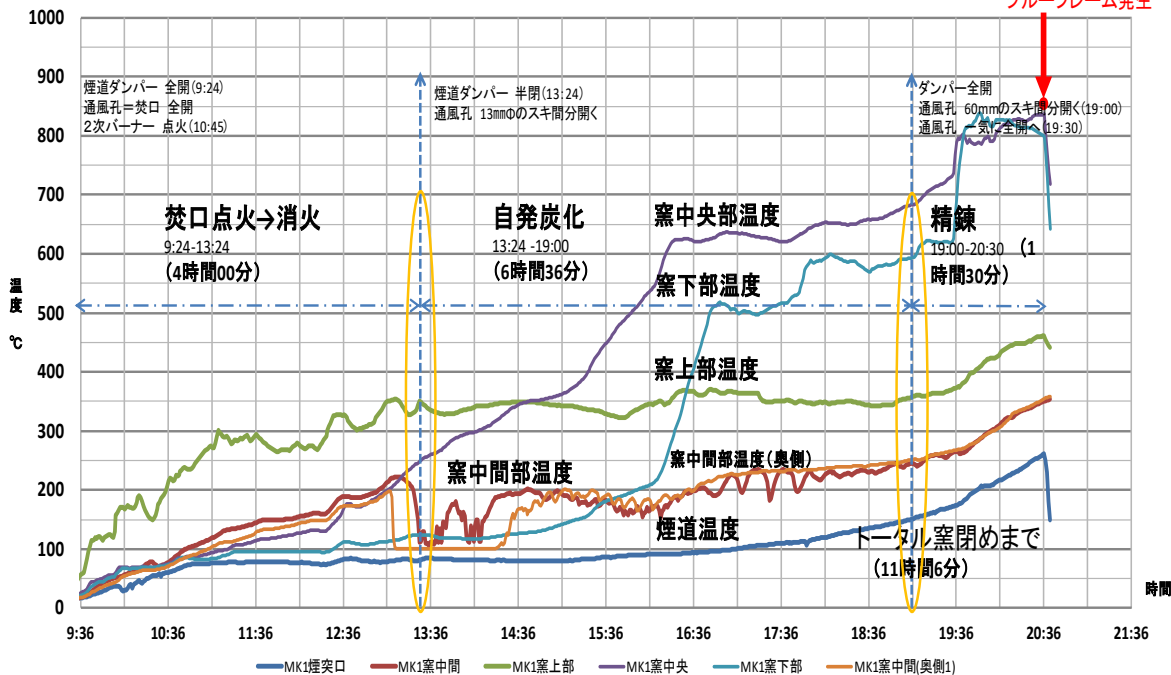
炭化温度を 250℃まで上昇させることができ、短時間だったがブルーフラームを観察した。回収率が良くなかったものの半年ぶりに良炭（硬質）が得られた。このことから推論の正しさが裏付けられた。一方、煙突撤去後に煙道（縦坑）の上から覗いたところ、かなりのタールが内壁に付着していたほか、煙道口（窯出口、横坑）には直径 5 cm程のタール状の塊があることを発見した。これがジェットストーブ効果が十分に得られなかったもう一つの原因となり、竹炭の収量と質の低下を招いたものと考えられる。次回の炭焼きまでにこの塊を除去する予定。

2024年11月16日(土) 宮谷戸 MK-1改修窯 竹炭焼き結果

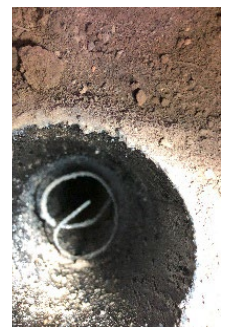
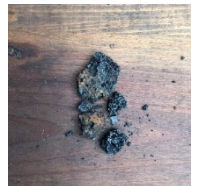
第251回(窯改修後9回目) 炭焼き、気温 17℃、天気 晴れ

炭材:長さ68cm長寸(伐採日2024年2月9日 乾燥日数丸竹:57日、割竹:214日)
入炭材量:54.29 Kg 採取竹酢液: 11.5 L 出炭量: 12.87 Kg(23.7%) 良品:4.85 Kg(8.9%)

MK-1 窯中央
最高温度836℃
ブルーフラーム発生



練中



煙道内壁のタール

特別プログラム「正月飾り」（こも編み）

当日に参加者のキャンセルがあったため、部会員だけのプログラム実施となりました。今週に収穫した米の稲わらを選別して、お互いに編み方を教えながら、こも編みを楽しみました。小春日和の暖かい日差しの下、稲わらの匂いに包まれて秋らしい一日を満喫できました。編んだこもは正月のミニ門松用として使うことになっています。





月	日	曜日	行 事	時間	集合場所	参加費
12	1	日	里山のめぐみでリース作り	10:00 ~ 12:00	ばじょうじ谷戸休憩舎	300 材料:1000
	7	土	里山保全体験(落ち葉かきと焼き芋)	10:00 ~ 12:00		600/400
	15	日	お正月飾りを作ろう	10:00 ~ 12:00		300 材料:1000
	7	土	炭焼き(窯詰め、炭材作り)	9:00 ~ 12:00	宮谷戸炭焼施設	300/100
	14	土	炭焼き(火入れ、炭焼き)	9:00 ~ 17:00		300/100
	14	土	炭焼き特別プログラム(お正月飾り)	9:30 ~ 11:30		300/100
	21	土	炭焼き(窯だし、炭材作り)	9:00 ~ 12:00		300/100
1	4	土	里山保全体験(竹林の手入れ・竹細工)	9:30 ~ 12:00	ばじょうじ谷戸休憩舎	300/100
	12	日	お正月遊びと餅つき	10:00 ~ 12:00	円形広場	800
	26	日	ネイチャークラフト作り	10:00 ~ 15:00		500
	11	土	炭焼き(窯詰め、炭材作り)	9:00 ~ 12:00	宮谷戸炭焼施設	300/100
	18	土	炭焼き(火入れ、炭焼き)	9:00 ~ 17:00		300/100
	25	土	炭焼き(窯だし、炭材作り)	9:00 ~ 12:00		300/100

<応募方法> 行事開催10日前までに一行事ごとにHPまたは往復はがきで参加者全員の氏名・年齢・住所・電話番号を記入してお申し込み下さい。申し込み多数の場合は抽選になります。抽選の結果は行事の1週間前までにご連絡致します。

ホームページ <https://tzksatokura.org/> お問い合わせ tsuzuki-park@tmtv.ne.jp

12月 保全田畑部会 各エリア維持管理予定表

日付	曜日	9時～12時	13時～17時
3	火	(園内)落葉掻き、(I-①)薪わり、竹細工(福枝)	
5	木	(H)バラ花壇、花柄摘み、除草、消毒 (I-①)こも編み	
10	火	(G)アズマネザサ抜根(上の畑) (I-①)こも編み	
12	木	(G)アズマネザサ抜根(上の畑) (I-①)こも編み	
17	火	(園内)落葉掻き、(I-①)薪わり	
19	木	(I-①)正月飾り-保全部会	
24	火	(H)バラ花壇、花柄摘み、除草、追肥	
26	木	(園内)パトロール、(I-①)部会会議、道具類の整備	

里山の恵み



■PURE ハチミツ
計り売り 1g/8円
1びん/1800円



■竹細工各種
200円～300円
■青竹材
200円/1m



■バラ炭 袋入り 750g/300円
5Kg/1200円
■竹酢液 濾過品 2L/500円
蒸溜品 500ml/500円

編集記

冬の晴れた日の青空と、色鮮やかな紅葉が大池に映りとてもきれいです。そんな景色が冬将軍がくるまでの間楽しめます。

今月23日(金)にはポピンズナーサリースクールセンター南の小さな可愛らしいみんなが勤労感謝の日をねぎらいに来てくれましたよ。ありがとうございました。

今年は年明けに不幸な災害がおこりました。

来年は穏やかな新年を迎えられよう心から願います。

当倶楽部にご支援ご協力をくださりまことにありがとうございました。

来年も何卒よろしくお願い致します。

事務局一同

